

家畜衛生だより 令和3年9月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

乳房炎予防のため、飼育環境の見直しを

下図に示すように、乳牛では暑熱ストレスによる免疫力の低下で、特に敷料や糞など環境中に存在する菌によって発生する「環境性乳房炎」が増加します。その予防のためには①搾乳衛生の徹底②牛床の清掃といった飼育環境を清潔に保つことが重要です。

この機会にもう一度、牛の飼育環境を見直してみましよう。

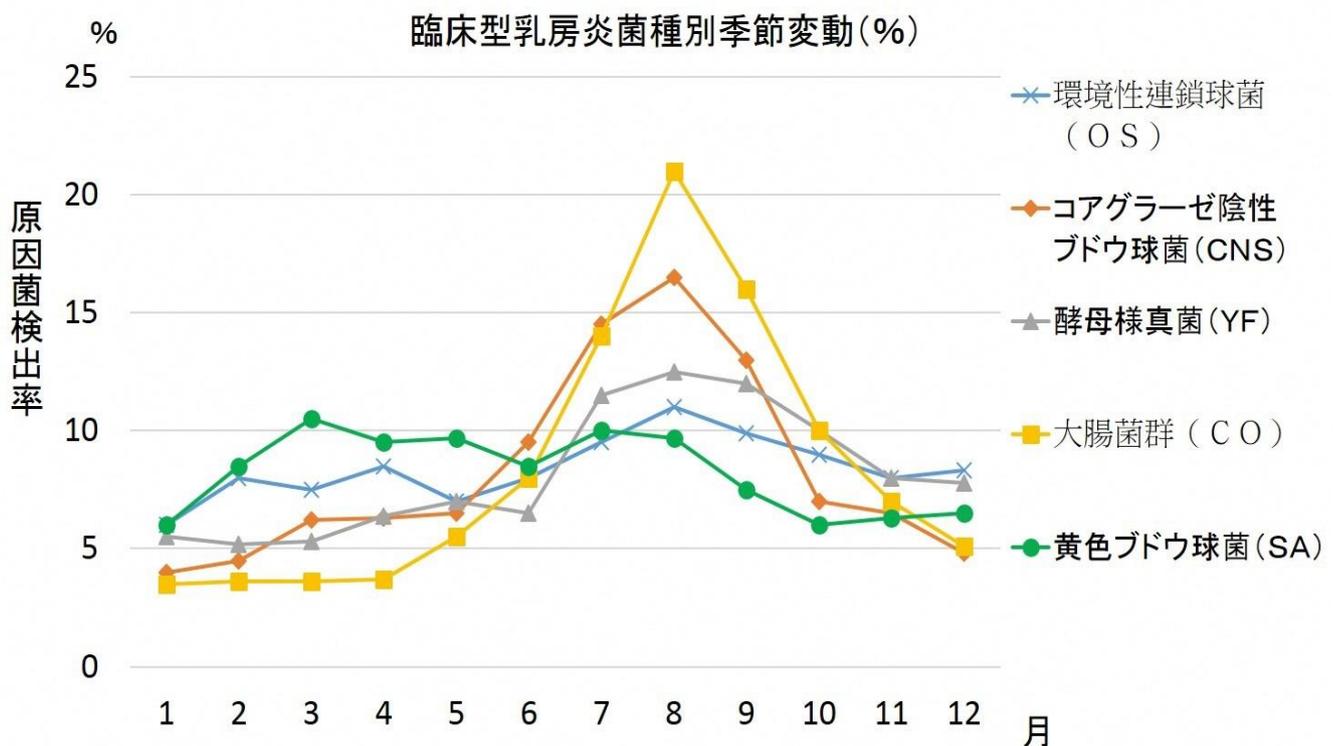


図 臨床型乳房炎菌種別季節変動 (株式会社デーリィ・ジャパン社出版「乳牛の疾病・予防・治療・看護方法」より出展)

① 搾乳衛生について：正しい手順、方法の確認をお願いします。

A) 前準備

- ・ ゴム手袋を装着しましょう。
- ・ 清掃タオルは、殺菌剤の入った40℃程のお湯に浸します。冬はクーラーボックスなどを使用すると保温しやすいです。

B) 前搾り

- ・ 乳頭清拭前に行い、ストリップカップで受けます。
- ・ 4回以上前搾りをすることで乳流量は多くなります。
- ・ プレディッピングは乳頭全体にたっぷりつけます。
- ・ 乳頭が汚れている場合、洗浄後にプレディッピングします。

C) 乳頭清拭・乾燥

- ・ タオルは一頭につき一枚以上使います。使い捨てペーパータオルは清潔さの確保に有効です。
- ・ 乳頭のみをしっかりと拭き、仕上げに乳頭口を拭きます。

D) ユニットの装着・調整

- ・ 前搾りから1～1分半で、乳房に対して垂直に装着します。
- ・ ライナーはN字状に折り曲げ、エアーを吸わせないようにします。
- ・ 盲乳分房にはライナーキャップを装着します。
- ・ 乳房を揉んだり、ユニットを引っ張るとライナーズリップの原因となります。

E) ポストディッピング

- ・ 乳頭全体にしっかりとディッピングします。

② 牛床の清掃について

- ・ 牛床は、水気が残らないように、こまめに除糞を行います。
- ・ つなぎ牛舎では、牛毎のカウトレーナの調節で牛が前に行きすぎず、糞が牛床に落ちにくく、牛床を清潔に保てます。

上記の内容を再度確認いただき、乳房炎の発生頻度を抑えましょう。なお、乳房炎予防対策については、最寄りの家畜保健衛生所までご相談ください。